

## 北堀江「阿弥陀池」

大阪の北堀江に阿弥陀池(あみだいけ)がある。西長堀の大阪市立中央図書館の近くに「あみだ池筋」が通っている。前から気になっていたのので、図書館が開館するまえに、あみだ池を訪ねてみた。

あみだ池は大阪市立堀江小学校西の和光寺のなかにある。寺の案内によると、「和光寺は元禄十一年(1698)堀江新地開発のとき、智善上人が建立した。本尊は丈一尺五寸の金銅阿弥陀如来である。境内の池から善光寺(長野)本尊ともいわれる阿弥陀如来が出現したことから、通称阿弥陀池ともいわれ江戸時代から多くの人々に親しまれている。」

あみだ池は平成 18 年度に大阪市指定文化財(史跡名勝天然記念物)に指定されている。

大阪市の紹介から一和光寺境内の北側にある阿弥陀池は、仏教伝来の際に百濟からもたらされた仏像が排仏により沈められた「難波の堀江」(なにわのほりえ)にあたるという伝承がある。和光寺が建立される元禄 11 年(1698)以前から、仏教伝来の聖地として信仰を集め、大坂の名所のひとつとなっていた。

東西 29.4m、南北 18.8m で、周囲には五輪塔を巡らせて高欄(こうらん)とし、縁は花崗岩の石積みで囲み、中央には小堂をまつている。

旧の小堂は戦災で焼失し、石積み部分に改修の手が入っているが、寛政 8 年(1796)の『摂津名所図会』(せつつめいしよずえ)に描かれている、聖地として信仰を集めていた池の様子がよく今に伝わっている。

ここを訪ねるまで、あみだ池についてほとんど知らなかった。和光寺の門から入って、庭を掃除する人に場所を聞いて、あみだ池に向かった。境内をすすむと、ひっそりとたたずむ小さな池があった。ここが「仏教伝来の聖地として、信仰を集め、大坂の名所のひとつ」とは。やはり実際に来てみないと、分からないものだ。あみだ池から見上げると、高層マンション「タワマン」が林立して、いまも建設途上にある。生徒が急増する堀江小学校とともに、あみだ池も大丈夫だろうか。

(2018 年 4 月 12 日)

